

○事業所名	キッズオハナ江曾島		
○保護者評価実施期間	2025年1月10日		～ 2025年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	2025年1月10日		～ 2025年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日常生活訓練型施設として多様なプログラムを提供している	個別で取り組むものと全体で協力して行うものを偏りなく取り入れるようにしている	さらに支援の専門性を高め満足度の高い療育を提供していきたい
2	職員間で情報共有がきちんとなされている	些細なことでも情報を共有するように心がけている	今後は事業所だけにとどまらず他店舗や学校などとコミュニケーションを図っていきたい
3	個々に合わせた目標を設定し支援に取り組んでいる	小さな気づきも報告しあい、短期・長期の目標についてスタッフ全員で見直しを行っている	より個々に目を配れるような環境づくりに努めていきたい

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訓練室のスペースを十分に確保できない場面がある	利用者の人数や年齢によって狭く感じることがある	必要に応じて屋外を利用したり、安全に配慮しながら事務スペースを活用するなどして対応していきたい
2	保護者との連絡手段にSNSを活用していない	様々な方法を提供することで行き違いが発生することを避けたい	より便利なサービスの利用を考えていきたい
3	保護者同士や兄弟を含めての交流ができていない	多くの方が交流を望んでいない	個別に寄り添いながら小集団で交流ができるような機会を考えていきたい

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2025年3月25日

事業所名：放課後等デイサービス キッズスオハナ江曾島

対象人数（保護者）33人 回答者数 27人 回収 81.8%

		チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらともいえない	いいえ		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	12	3	子供の人数に対する広さの基準が分からないので。人数に対して狭いようにも感じる時があるもう少し広いと良いかと思います。少しせまい	広さ、配置等は法令を遵守しておりますが、プログラムによっては外部施設を使うなどしています 今後も安全に活動ができるよう環境を整えてまいります
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	4	1	いつも目にかけてくれていて安心する。同様に、人数に対する職員の配置数が分からないので。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	3	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	5		夏、クーラーの効きが悪く、暑すぎるように思う	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	4			支援プログラムは本ホームページで公表しております 毎月のプログラムは繰り返すものとし、新しいものを適宜取り入れながら組み立てています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	2			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	3			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	5		もう少し外に出て社会参加の機会を持たせて欲しい。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	10	10	よく把握していません。	現在交流は考えておりません

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	3			契約時に書面で必ず説明をしております
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	2			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	11	9	知らないだけかもしれません、すみません。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	27			送迎時にたくさん情報を話してくれる。	モニタリングや送迎の際など直接お話しする機会を大切にしています
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	1	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	9	13	でも、開催されても参加できないかもしれません…	不要との意見が多く現在は行っていませんが、改めて検討してまいります
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	2			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	1		ライン等の連絡手段があるとありがたいです。学校の連絡網プリントもデータで配布されるようになっているので、下校時刻表等を写真で送れると便利かなと思います。LINEでのやり取りが出来るとう助かります。	今後SNSの活用なども検討してまいります
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25	1			Instagramを中心に様々なSNSを使って定期的に発信しています
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26				今後より一層留意してまいります	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	5			マニュアル類は事務室にあり、いつでもご覧いただけます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	4	1		定期的に避難訓練を実施しSNSで様子を発信しています
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1			

		チェック項目	はい	どちらとも いえな い	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26				
満足度	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	24	2			<p>子どもにとってオハナが安心して過ごせる自分の居場所となるよう、職員一同励んでおります</p> <p>今後も専門性に磨きをかけよりよい療育を目指してまいります</p>
	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	23	3		<p>楽しそうに通っています。</p> <p>大好きで毎晩就寝前に明日はオハナさんがあるかどうか聞いてきます笑</p>	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	1		<p>いつも本当にありがとうございます！！</p> <p>学校の宿題にパソコン課題が多いのでできるように検討してほしい</p>	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(事業者向け)公表

公表日:令和7年3月25日

事業所名:キッズオハナ江曾島

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		子どもの状態によってはあと一人支援者が欲しいと感じる場面がある 他事業所からのヘルプスタッフにはとても感謝している	訓練室には限りがあるため、活動によっては外部施設を利用するなどしてよりよい療育を心がけていきたい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		トイレに介護用手すりがあると利用者がペーパーホルダーに手をつけて立ち上がらずに済むので検討してはどうか	大規模な改修は望めないが、簡易的に後付けできるものは検討していきたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		利用者の申し出や職員の判断で別室で過ごすことがある	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		繰り返し行うことで定着を図るプログラムもやり方やアプローチの方法を変えることで飽きを感じないように提供している
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	毎月各スタッフが活動案を提出し、新しい活動を取り入れている 毎月活動案を提出している	同じプログラムでも一人一人にあわせて難易度を変え、全員が達成感や満足感を味わえるよう工夫している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	朝礼や昼礼時に確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	送迎後には必ず申し送りを行い情報を共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	この機会に確認した	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		主に児童発達管理責任者が参画している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	外部研修の機会は十分にある
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	必要性は感じているが今のところ実施できていない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	以前保護者研修があったがコロナ以降そのような開催はない BBQ等の家族も同行しての催しを再開できるとよい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		
		47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年に2回訓練を行っている
		48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		
		49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		事業所会議で共有している	
51		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		会議棟で内容を共有し改善に努めている アクシデント・インシデント報告書にまとめることで自らの行動を振り返ったりスタッフ間での共有に役立っている	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				